

景況感調査 報告書（平成30年4月期）

臼杵商工会議所

<調査概要>

調査対象：臼杵商工会議所管内20事業所

業種：造船業や醸造業など臼杵市の基幹産業を含む9業種

造船業、醸造業、サービス業、小売業、建設業、保険業、卸売業、
製造業、飲食業

調査方法：経営指導員によるヒアリング調査

【項目別景況判断】

売上は増加し、採算は好転しているが、見通しはいずれも厳しい。

全体的に仕入単価が上昇しており、見通しも厳しい。

業況は全体的にまずまずだが、資金繰りにやや難がある。

項目	売上高 (完成工事)	採算	仕入単価 (上昇は-)	従業員 (過剰は-)	業況 (業界)	資金繰り
景況判断 前年同月比						
D I 値	4	3	-7	3	1	-2
景況判断 3ヵ月見通し						
D I 値	-3	-1	-9	4	-1	-2

※サンプル数が少ないため、調査した全業種をまとめてD I 値を出しています。

※D I 値とは、「増加・好転」の判断数から、「減少・悪化」したとする判断数を差し引いた値です。

(D I 値が「+」の場合は「増加・好転」傾向、「-」の場合は「減少・悪化」傾向となります)

※「上向き矢印」は「増加・好転」を表し、「下向き矢印」は「減少・悪化」を表しています。

【いま直面している経営上の問題点】

順位	問題点	回答数
1位	競争の激化	5
2位	収益の低下	4
3位	需要の停滞（個人消費、官公需）	3

コメント等

【造船】

- ・材料が少しずつ値上がりして来ている。オリンピックが終了する迄かどうか知らないが、収益に大きくかかわってくるので困った問題である。
- ・仕事は市内がほとんど。地震関連の仕事は無かった。

【建設業】

- ・人手不足の状況が続いている。

【いま直面している経営上の問題点】（業種別・上位3つまで）

造船業

- ・収益の低下
- ・競争の激化
- ・販売・受注単価の下落

醸造業

- ・収益の低下
- ・需要の停滞
- ・売上不振

建設業

- ・人材不足
- ・需要の停滞
- ・競争の激化

卸売業

- ・人材不足
- ・需要の停滞

小売業

- ・競争の激化
- ・売上不振
- ・需要の停滞

サービス業

- ・売上不振
- ・人材不足
- ・収益の低下

保険業

- ・競争の激化
- ・人材不足
- ・需要の停滞

飲食業

- ・収益の低下
- ・資金繰り
- ・売上不振

不動産業

- ・人材不足
- ・事業承継